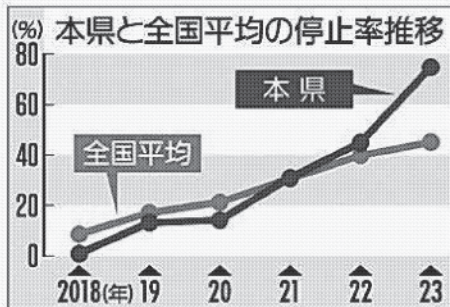


止まってくれる栃木

横断歩道 JAF 23年調査

全国3位、最下位から躍進



信号機がない横断歩道で車が歩行者を優先して一時停止した本県の割合は前年比29・9%増の74・8%となり、全国順位は前年の22位から3位に急上昇したことが25日、日本自動車連盟(JAF)が公表した2023年の調査結果で分かった。

調査は8～9月、各都道府県内の2カ所、全国の計94カ所で、信号機が設置されていない横断歩道を通して車両7087台を対象とする車両7087台を対象に実施。歩行者が渡ろうとしている場面で3193台が一時停止し、停止率は過去最高の45・1%だった。停止率の全国1位は昨年に続き長野県の84・4%で、2位は石川県の76・4%

た。停止率が0・9%で全国最下位だった18年以降、官民挙げた取り組み強化が奏功し、5年で停止率、順位ともに過去最高となった。県警は「もっと止まれるはず。横断歩道では歩行者優先の意識を持つてほしい」と呼びかけている。

活動や取り組みを強化した。本年度も第5弾となる啓発CMの制作や横断歩道があることを予告する「ダイヤマーク」の下地部分を緑色にするカラー舗装などの取り組みを進めてきた。本県の停止率は年々改善し、19年は13・2%で20位、20年は14・2%で36位だった。21年は初めて全国平均を上回る31・0%で22位と

%。本県は過去最高の3位だった。隣県では群馬県が41・1%で30位、茨城県が27・6%で43位。新潟県が23・2%で最下位だった。県警は18年のワースト1位を受け、「止まってくれない！栃木県」からの脱却キャンペーンを展開。広報

なり、22年は44・9%で22位だった。全国3位の結果を受け、県警交通安全課の担当者は「登校中の児童が横断歩道を横断中、乗用車にはねられる事故も発生している。数字を手放しで喜べる状況ではなく、関係機関と連携し、さらなる施策に取り組んでいく」と話した。(佐野恵、柺木澤良太)



(185)

小学校高学年向け

年組

(2023年10月26日付・下野新聞1面)

設問

【1】タイトルにある「止まってくれる」の意味について、() に当てはまる言葉を書きましょう。

() がない横断歩道を() が渡ろうとしている場面で、車が一時停止すること

【2】本文とグラフから分かる栃木県の停止率について、正しい文には○をつけ、誤りがある文は正しく直しましょう。

(1) () 2018年は、停止率が0.9%で全国最下位だった。

た。

(2) () 2023年には、停止率が初めて全国平均を上回った。

(3) () 2021年から2022年にかけて、停止率は少し増え、全国順位も少し上がった。

(4) () 2022年から2023年にかけて、停止率は約30%増え、全国順位も22位から3位に急上昇した。

【3】停止率を高めるために、栃木県警は、CMなどの広報活動や取り組みの強化をしてきました。今後とも横断歩道で一時停止する車を増やすために、あなたならどのような方法を工夫しますか。